令和7年度授業における先進的なICT活用研修

教育データの利活用や授業における生成AIの利活用に関する知識や技術を身に付けることを目的として、標記研修を実施しました。

- 1 対 象 県立学校・市立高等学校・市立特別支援学校の希望者
- 2 受 講 者 78名
- 3 日 時 令和7年8月5日（火）14:00～15:30
- 4 研修形態 オンライン
- 5 テ ー マ 教育データの利活用、授業における生成AIの利活用
- 6 講 師 広島工業大学 教授 安藤 明伸
- 7 研修内容
 - (1) 個別最適・協働的な学びと教育データ
 - ・ 学習方法を見つけるための学習
 - ・ 自己決定理論と動機づけ
 - ・ 学習の個性化のために学習ログを活かす
 - ・ 活動を支える情報活用能力
 - ・ 勘と経験だけで教える教員にならないために
 - (2) 授業における生成AIの利活用
 - ・ 生成AIの基本的な考え方の深化
 - ・ 情報活用能力育成の強化
 - ・ 児童生徒の生成AI利活用場面の例
 - ・ 校務での利活用例
 - ・ 児童生徒が生成AIと健全につきあうために

※ 安藤：広工大の画面を表示しています ※ REC オプションを表示

子どもたちが生成AIと健全につきあうために

- 1.先生たちが、普段使っていて生産性と思考の質をあげる
- 2.使わせないことの教師・教育委員会の責任
- 3.段階的な生成AIとのつきあいかた
 - 1.先生が説明しながら使って見せる
 - 2.簡単な学習モデル作成と、それを利用するプログラム
 - ・ 著作権と誠実さ
 - 3.子ども本人が詳しく知っていることを聞く
 - ・ ハルシネーションや誤回答
 - 4.色々な聞き方を試す
 - ・ 質問力

自由進度学習での生成AI
働き方改革と生成AI

AIに自我や人格はなく、あくまでも人間が発明した道具

安藤：広工大

広島工業大学

99